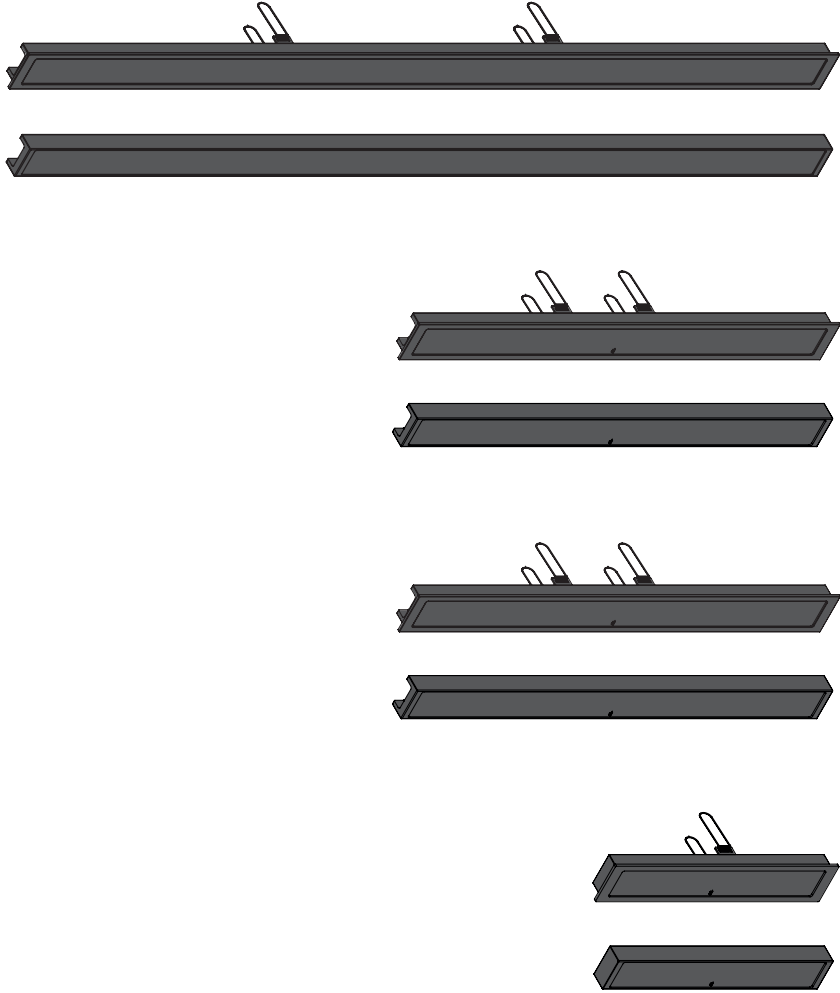


Hyper-KV

Ultra-flat aluminum line array element





CAUTION
RISK OF ELECTRIC SHOCK
DO NOT OPEN



ATTENTION : RISQUE DE CHOC ELECTRIQUE NE PAS OUVRIR

CAUTION: TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK,
DO NOT REMOVE COVER (OR BACK).
NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE.
REFER SERVICING TO QUALIFIED SERVICE PERSONNEL.

要注意: 感電防止のため、開けないでください。
またカバー (もしくはバック部分) を外さないでください。
内部にユーザーによる修理が可能な部分はありません。
有資格のサービス担当者に修理を依頼すること。



この記号は、製品の使用と保守に関する推奨事項の存在を警告するものです。



正三角形内の矢印付き点滅記号は、感電の危険性がある絶縁されていない危険な電圧が製品筐体内に存在することを警告するためのものです。

正三角形内の感嘆符は、本ガイドに重要な操作およびメンテナンス (整備) の指示があることを警告するためのものです。



取扱説明書

この記号は、操作説明書に関連する取扱説明書を示し、この記号のある場所の近くで装置または制御装置を操作する場合は、操作説明書を考慮する必要がありますを示しています。



屋内専用

この電気機器は、主に屋内用に設計されています。



WEEE

本製品は、使用期間が終了したら、お近くの回収場所またはリサイクルセンターまでお持ちください。



このデバイスは、有害物質制限指令に準拠しています。

警告



これらの安全に関する指示に従わない場合、火災、感電、その他の人身事故、装置またはその他の物理的損害が発生する恐れがあります。

Vyper-KV

USER GUIDE

一般的な注意と警告

- この説明書をお読みください。この説明書を保管してください。
- すべての警告に注意してください。
- すべての指示に従ってください。
- 本機を水の近くで使用しないでください。
- お手入れは乾いた布のみで行ってください。
- 換気口をふさがないこと。製造元の指示に従って設置してください。
- ラジエーター、暖房器具、ストーブなど、熱を発する器具 (アンプを含む) の近くには設置しないこと。
- 極性プラグやアースプラグの安全上の目的を破らないこと。極性プラグには2つのブレードがあり、一方が他方より幅広くなっています。接地プラグには2つのブレードと3つ目の接地ブロングがあります。幅の広いブレードや3番目の突起は、安全のために設けられています。付属のプラグがコンセントに適合しない場合は、電気技術者に相談し、旧式のコンセントを交換してください。
- メーカー指定のアタッチメント/アクセサリのみを使用してください。
- 電源コードは、特にプラグや便利なレセプタクル、装置から出る部分で、歩いたり挟まれたりしないように保護してください。
- 本製品のお手入れは、乾いた柔らかい布で行ってください。製品の表面を傷つける恐れがあるため、液体洗剤は絶対に使用しないでください。
- メーカー指定のカート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルを使用すること。カートを使用する場合は、転倒によるけがを避けるため、カートと本機の組み合わせて移動するときは注意してください。
- 雷雨のときや長時間使用しないときは、本機の電源プラグを抜いてください。
- 直射日光の当たる場所や、紫外線 (UV) を発生する器具の近くには置かないでください。
- 修理を依頼される場合には、販売店印とご購入日が明記された保証書が必ず必要です。電源コードやプラグが破損している、液体をこぼした、物を落下させた、雨や湿気にさらされた、正常に動作しない、落下させたなど、本機に何らかの損傷がある場合は、修理が必要です。
- 注意:** この取扱説明書は、有資格のサービス担当者のみが使用できるものです。感電の危険を避けるため、有資格者以外は取扱説明書に記載されている以外の整備を行わないでください。
- 警告:** 製造元が指定または提供するアタッチメント / アクセサリ (専用電源アダプタ、バッテリーなど) のみを使用してください。
- 警告:** 住宅環境で本装置を操作すると、電波障害を引き起こす可能性があります。



本装置は業務用です。

設置および試運転は、

資格のある担当者のみが行ってください。

- スピーカー端子とスピーカーの接続には、スピーカークーブルのみを使用してください。特にスピーカーを並列接続する場合は、アンプの定格負荷インピーダンスを必ず守ってください。スピーカを並列接続する場合は特にご注意ください。特にスピーカーを並列接続する場合は、アンプの定格負荷インピーダンスアンプの定格範囲外の負荷を接続すると、本機が破損することがあります。スピーカの不適切な使用による損害については、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- ラウドスピーカーの不適切な使用による損害について、K-arrayは一切の責任を負いかねます。
- 本製品を無断で改造した場合、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

CEについて

K-arrayは、本装置が適用されるCE規格および規則に準拠していることを宣言します。本装置を動作させる前に、各国固有の規制を遵守してください！



FCCについて

本装置は、FCC 規則パート 15 に従い、クラス B デジタルデバイスの制限に準拠することがテストにより確認されています。これらの制限は、住宅での設置において有害な干渉から妥当に保護するためのものです。本装置は、無線周波数エネルギーを発生、使用、放射する可能性があり、説明書に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置場所で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合は、本機器の電源を切ったり入れたりすることで判断できます：

1. 受信アンテナの向きを変えるか、場所を変える。
2. 機器と受信機の距離を離す。
3. 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに機器を接続する。
4. 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者にご相談ください。

FCC 放射線被ばくに関する記述

本装置は、制御されていない環境での FCC 放射線被ばく制限に準拠しています。本装置は、提供された説明書に従って設置および操作され、この送信機に使用されるアンテナは、すべての人から少なくとも20cmの離隔距離を確保するように設置されなければなりません。

本装置は、FCC規則のパート15に準拠しています。動作は以下の2つの条件に従います：

1. 本機は有害な干渉を引き起こしてはなりません。
2. 本機は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければなりません。

注意：コンプライアンスに責任を持つ当事者が明示的に承認していない変更または修正は、本装置を操作するユーザーの権限を無効にする可能性があります。

カナディアンステートメント

本装置はカナダ産業省のライセンス免除RSSに準拠しています。

操作は、次の2つの条件に従うものとします：

1. このデバイスは干渉を引き起こしてはなりません。
2. 本装置は、本装置の望ましくない動作を引き起こす干渉を含む、あらゆる干渉を受け入れなければなりません。

本装置は、RSS 102 のセクション 2.5 の日常評価制限の免除および RSS-102 RF 露出への準拠を満たしており、ユーザーは RF 露出および準拠に関するカナダの情報を入手できます。本機器は、放射体と身体との間に最低20cmの距離をおいて設置および操作する必要があります。

商標について

すべての商標はそれぞれの所有者に帰属します。

目次

開封	6		
設置位置	6	機械図面	14
クイックスタートガイド	7	Vyper-KV25 II	14
表面取り付け	7	Vyper-KV25R II	14
Vyper-KV25 II, Vyper-KV52 II,	7	Vyper-KV52 II / Vyper-KV52F II	15
Vyper-KV52F II, Vyper-KV102 II	7	Vyper-KV52R II / Vyper-KV52FR II	15
壁面への取り付け	7	Vyper-KV102 II	16
Vyper-KV25R II, Vyper-KV52R II,	7	Vyper-KV102R II	17
Vyper-KV52FR II, Vyper-KV102R II	7		
ワイヤリング	8		
複数のVyper-KVの接続	9		
設置	10		
切り抜き穴寸法	10		
表面取り付け	11		
壁内取付	12		
アフターサービス	13		
クリーニング	13		

このたびは、K-array製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます！

本製品を正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書および安全上のご注意をよくお読みください。この取扱説明書をお読みになった後は、必ず大切に保管してください。この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

Vyperシリーズは、K-array製品群の中で最もフラットなスピーカーで、ピュア・アレイ・テクノロジーを誇る密接に配置されたトランスデューサーを搭載し、エレガントで耐性のある奥行き2cmのアルミフレームに収められています。

密接に配置されたコーン型ドライバーにより、Vyperは真のラインアレイ特性を発揮します：位相コヒーレンス、低歪み、ニアフィールドとスピーカーから離れた場所の両方で焦点の合ったリスニング。このピュア・アレイ・テクノロジーにより、Vyperは会場を均一にカバーし、ロング・スローを実現します。

他のスピーカーやアンプとの統合を容易にするため、Vyperはインピーダンスの選択が可能で、RumbleまたはTruffleシリーズのサブウーファーと組み合わせ、Vyper用に最適化されたプリセットを備えたKommanderアンプで駆動すると、音楽周波数帯域全体をカバーします。

Vyper-KV

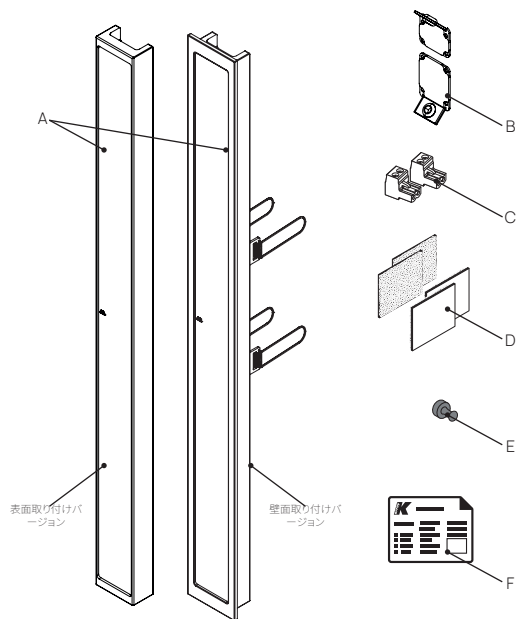
USER GUIDE

開封

各 K-array ラウドスピーカーは最高水準で製造され、工場出荷前に徹底的に検査されます。

到着後、輸送箱を注意深く点検し、新しいアンプをテストしてください。破損を発見した場合は、直ちに運送会社にご連絡ください。以下の部品が製品に同梱されていることをご確認ください。

- A. 1x Vyper-KV/パッシブラインアレイラウドスピーカー（表面または壁内設置用）。
- B. 2x IP65 シーリングプレート*
- C. 2x ユーロブロック2,5/ 2-ST-5,08 ** 2端子
- D. 2x 再使用可能なファスナー接着ペア（表面取り付けバージョンのみ）
- E. 1x 小型マグネット
- F. 1x クイックガイド



Note:

* Vyper-KV25 IIおよびVyper-KV25R IIのIP65コネクタシーリングプレート1個

** Vyper-KV25 IIおよびVyper-KV25R IIのユーロブロック2,5/ 2-ST-5,08端子×1個

設置位置

Vyper-KVラウドスピーカーは、壁のような平らな面に設置すると最高の性能を発揮します。

リスニングポジションにラウドスピーカーを向けて、適切な設置高さを見つけてください。

以下の構成をお勧めします：



着席リスニングエリア

高さ：最小高さ1.5m/最大高さ2m



スタンディング・リスニング・エリア

H: 最小高さ1.7 m / 最大高さ2.7 m

ラインアレイ構成の狭い指向性を活かすため、通常の用途では Vyper-KVラウドスピーカーを垂直に設置することをお勧めします。ただし、Vyper-KV52F IIとVyper-KV52FR IIは、両方向に広い指向性を持っています。

クイックスタートガイド

表面取り付け

Vyper-KV25II, Vyper-KV52II, Vyper-KV52FII, Vyper-KV102II

ラウドスピーカーを正しく設置するには、以下の手順に従ってください：

1. ラウドスピーカーを開梱し、後で使用するために付属品を脇に置きます；
2. 取り付け面の適切な位置を探します：切り抜きテンプレート（ラウドスピーカーのパッケージに描かれています）を位置決めし、それに従って表面に印を付けます；
3. ラウドスピーカーをネジで固定するための穴を開けるか、ラウドスピーカーを付属の再使用可能なファスナーで固定するために取り付け面が平らであることを確認します；使用するアンプに対して、適切なラウドスピーカーの負荷インピーダンスを設定する；
4. ラウドスピーカーをアンプに接続するための適切なスピーカーケーブルの長さを設定する；
5. IP65のデバイスを使用する場合、スピーカーケーブルがIP65コネクタシーリングプレートのゴムを通過するようにします；
6. スピーカーのバックパネルからコネクタプレートを取り外します；
7. 信号の極性に注意して、スピーカーケーブルを2端子のEuroblock 2,5/ 2-ST-5,08コネクタに接続します；
8. スピーカーケーブルは、片側のラウドスピーカー端の信号コネクタに差し込みます；
9. IP65デバイスを使用する場合は、ラウドスピーカーのバックパネルにIP65コネクタシーリングプレートをねじ込みます；
10. ラウドスピーカーをネジでしっかりと表面に固定するか、再利用可能なファスナーでラウドスピーカーを所定の位置に貼り付けます。
11. スイッチを入れて音楽をお楽しみください！

壁面取り付け

Vyper-KV25RII, Vyper-KV52RII, Vyper-KV52FRII, Vyper-KV102RII

ラウドスピーカーを正しく設置するには、以下の手順に従ってください：

- A. ラウドスピーカーを開梱し、後で使用するために付属品を脇に置きます；
- B. 取り付け面の適切な位置を探します。（ラウドスピーカーのパッケージに描かれている）穴あけテンプレートを位置決めし、それに従って表面に印を付けます；
- C. ドリルで下穴を開け、穴あけ用テンプレートの周囲をカットします；
- D. 使用するアンプに対して適切なラウドスピーカーの負荷インピーダンスを設定します；
- E. ラウドスピーカーをアンプに接続するスピーカー・ケーブルの長さを適切に設定する；
- F. IP65の機器を使用する場合、スピーカーケーブルがIP65コネクタシーリングプレートのゴムを通過するようにします；
- G. スピーカーのバックパネルからコネクタプレートを取り外します；
- H. 信号の極性に注意して、スピーカーケーブルを2端子のEuroblock 2,5/ 2-ST-5,08コネクタに接続します；
- I. スピーカーケーブルは、片側のラウドスピーカー端の信号コネクタに差し込みます；
- J. IP65デバイスを使用する場合は、ラウドスピーカーのバックパネルにあるIP65コネクタ・シーリング・プレートをねじ込みます；
- K. ラウドスピーカーバックパネルの金属クリップを広げ、そっと凹みに挿入します；
- L. ラウドスピーカーを凹部にスライドさせ、所定の位置にセットします。
- M. 音楽をお楽しみください！

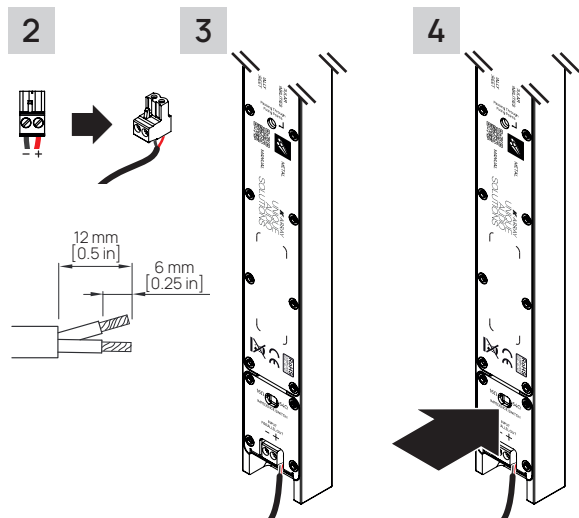
ワイヤリング

Vyper-KVラインアレイラウドスピーカーは、接続とリンクを容易にするため、Phoenix 2,5/2-ST-5,0フライングプラグ用のユーロブロック2ピンインレットを備えています。

ラウドスピーカーケーブルをフライングコネクタに接続する際は、信号の極性を合わせるために注意が必要です。正しい接続方法については、ラウドスピーカー背面のラベルをご参照ください。

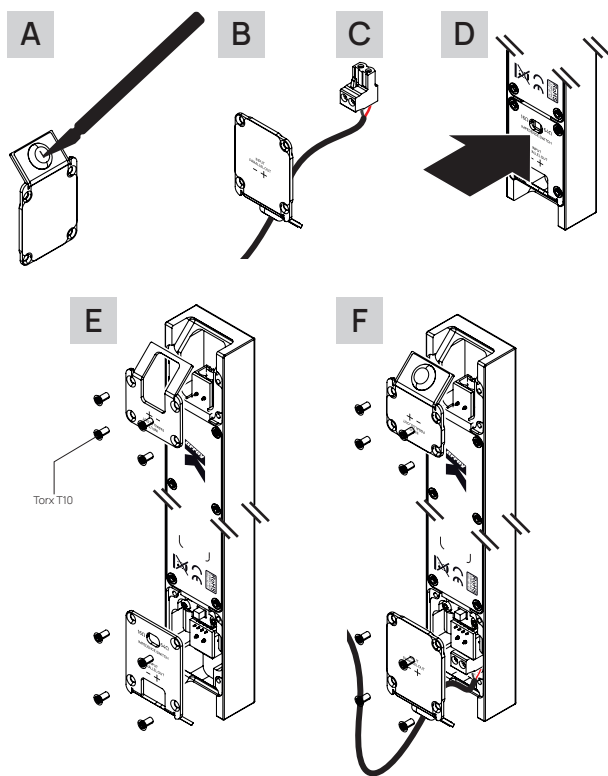
ケーブル長が5 m までの場合は、最小0.75 mm² (18 AWG) のワイヤージージを使用してください。ケーブルが長い場合は、より太いゲージを推奨します。

1. ラウドスピーカーをアンプに接続するために、適切なスピーカーケーブルの長さを設定します；
2. 信号の極性に注意して、スピーカーケーブルを2端子のコネクタに接続します；
3. ラウドスピーカーの構成とアンプのモデルに応じて、適切なインピーダンス値を設定する。
4. ラウドスピーカーの片側の信号コネクタにスピーカーケーブルを差し込みます；



IP65の機器を必要とするアプリケーション：

- A. IP65コネクタシーリングプレートのゴムに小さな開口を開けます；
- B. スピーカーケーブルをIP65コネクタシーリングプレートのゴムを通過させる；
- C. 信号の極性に注意して、スピーカーケーブルを2端子のコネクタに接続します；
- D. ラウドスピーカーの構成とアンプのモデルに応じて、適切なインピーダンス値を設定してください。
- E. ラウドスピーカーのバックパネルからコネクタプレートを外します；
- F. ラウドスピーカーバックパネルにIP65コネクタシーリングプレートをねじ込みます。



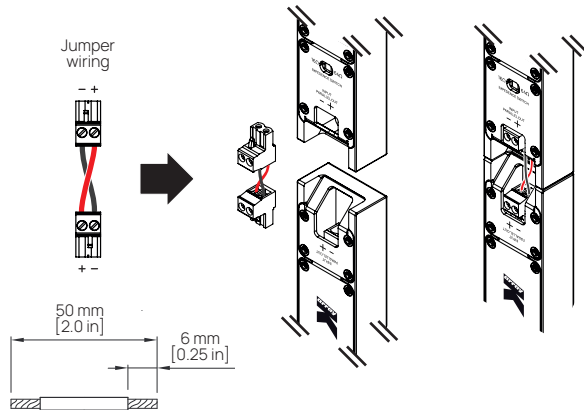
複数のVyper-KVの接続

Vyper-KVラウドスピーカー（入力コネクタが1つのVyper-KV25 II / Vyper-KV25R IIのみ例外）の上部と下部のコネクタは、入力信号がVyper-KVラウドスピーカーを通過し、別のVyper-KVラウドスピーカーに並列に供給できるように並列接続されています。この配線は、分散型ラウドスピーカーシステムや、複数のVyper-KVラウドスピーカーを積み重ねて長いラインアレイを構成する場合に便利です。



壁内設置用のVyper-KVは、より長いラインアレイを作るためにスタックするには設計されていません。

信号が前のラウドスピーカーから出て、信号の極性を保ったまま並列接続されたラウドスピーカーに入るように、適切なジャンパー線を用意する必要があります。



アンプを接続する前に、必ずラウドスピーカーのインピーダンスを必ず確認してください。

同じアンプチャンネルに並列接続できるVyper-KVラウドスピーカーの数は、ラウドスピーカーモデル、ラウドスピーカーインピーダンス、アンプパワーによって異なります。以下の表は、Vyper-KVの各モデルで使用可能なインピーダンス値を示しています。

Model	Selectable impedance	Model	Selectable impedance
Vyper-KV25 II	8 Ω / 32 Ω	Vyper-KV25R II	8 Ω / 32 Ω
Vyper-KV52 II	16 Ω / 64 Ω	Vyper-KV52R II	16 Ω / 64 Ω
Vyper-KV52F II	16 Ω / 64 Ω	Vyper-KV52FR II	16 Ω / 64 Ω
Vyper-KV102 II	8 Ω / 32 Ω	Vyper-KV102R II	8 Ω / 32 Ω

パラレル接続は総負荷インピーダンスを下げます。パラレル接続されたラウドスピーカーの負荷インピーダンスをアンプの最小負荷インピーダンス以上に維持するように注意する必要があります。1つのアンプチャンネルで駆動できる最大ラウドスピーカー数の詳細については、K-arrayウェブサイトのアンプとスピーカーのマッチング表をご参照ください。



ラウドスピーカーケーブルをアンプに接続する前に、ラウドスピーカーのインピーダンスを確認してください：

- 特に複数のラウドスピーカーをパラレルに接続する場合、ラウドスピーカーのインピーダンスがアンプチャンネルの定格負荷インピーダンスと一致していることを確認してください；
- アンプのDSPに、工場出荷時のラウドスピーカー専用プリセットをロードします。



ラウドスピーカーを駆動する前に Kommander-KA アンプに適切なラウドスピーカーのファクトリー・プリセットをロードしてください。

Vyper-KV

USER GUIDE

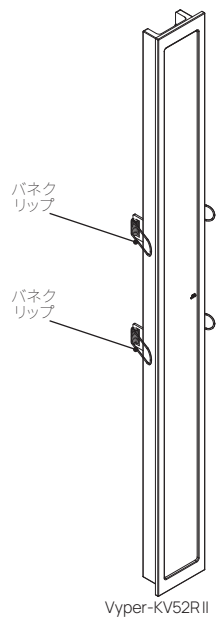
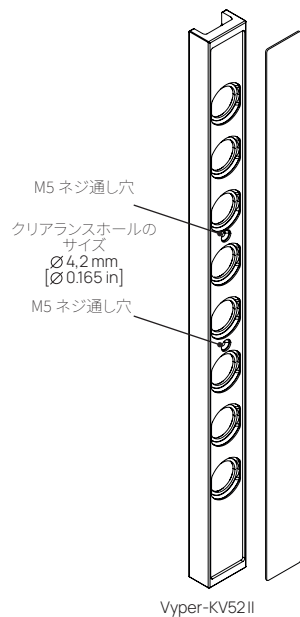
設置

The Vyper-KV ラウドスピーカーには2種類あります:

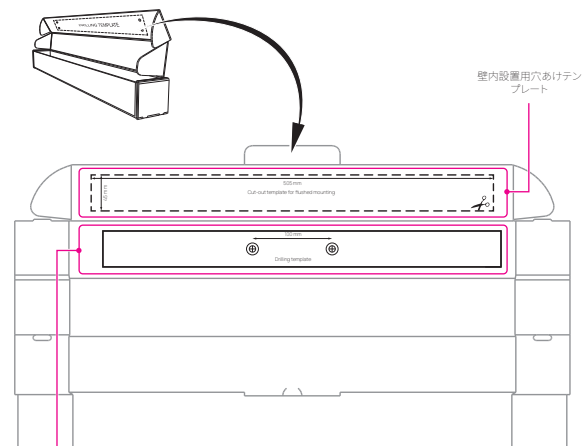
表面取り付け		壁面取り付け	
Lenght	Model	Lenght	Model
260 mm 10.24in	Vyper-KV25II	270 mm 10.63in	Vyper-KV25R II
500 mm 19.69in	Vyper-KV52II	510 mm 20.08 in	Vyper-KV52R II
500 mm 19.69in	Vyper-KV52FII	510 mm 20.08 in	Vyper-KV52FR II
1000 mm 39.37in	Vyper-KV102II	1010 mm 39.76in	Vyper-KV102R II

表面実装用に設計されたVyper-KVは、ねじ式のM5スルーホールを備えています。

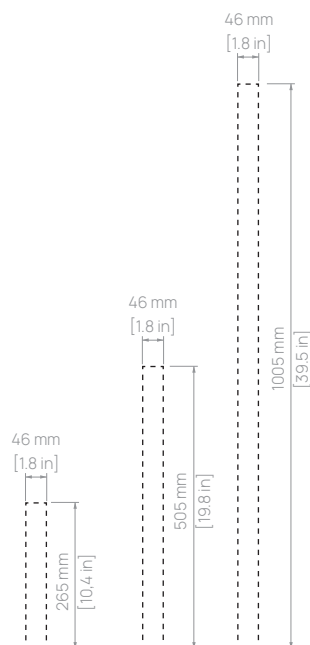
壁内設置用に設計されたVyper-KVは、凹部に簡単に保持できるスプリングクリップを備えています。



穴あけ用テンプレートはパッケージ内に印刷されています。適切な取り付けを確実にするため、この操作説明書に従ってください。

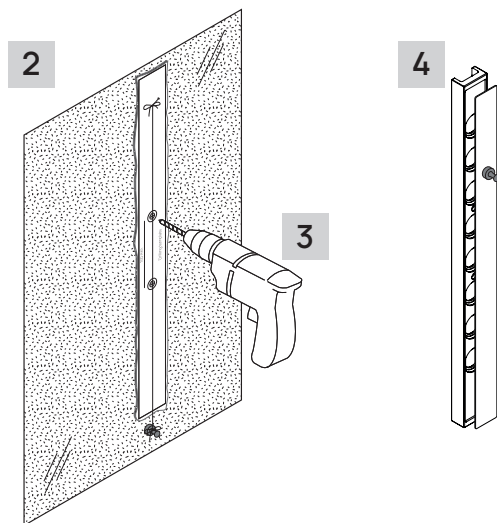


切り抜き穴寸法

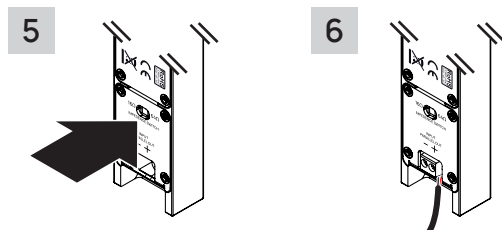


表面取り付け

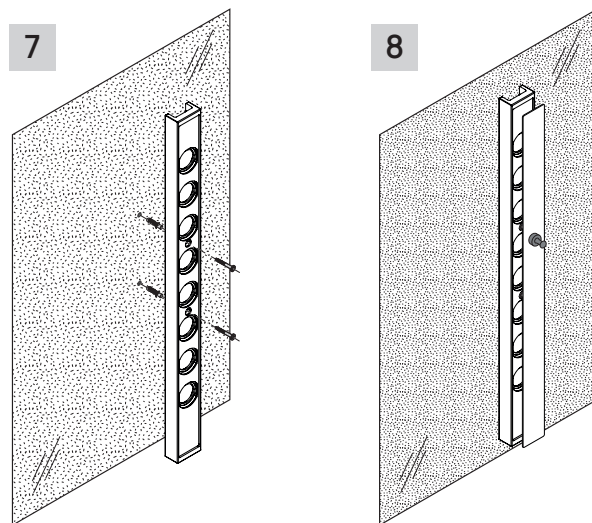
1. 梱包箱から穴あけ用テンプレートを切り取ります。
2. 穴あけ用テンプレートを取り付け面に置き、垂直になるように注意する。
3. 表面に適切な数の穴を開けます。



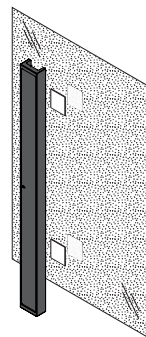
4. 小さなマグネットでグリルをラウドスピーカーから外します。
5. 適切なラウドスピーカーインピーダンスを設定します。
6. ラウドスピーカーを配線に接続します。



7. ダボとネジを使ってラウドスピーカーを表面に固定します。
8. グリルをラウドスピーカーに取り付けます。

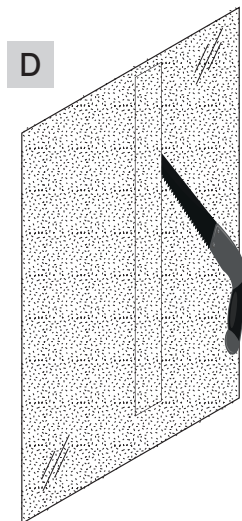
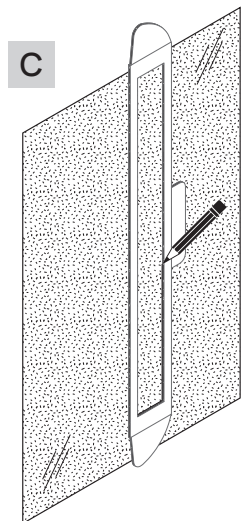


または、穴あけ用テンプレートを使って表面に印をつけ、再利用可能なファスナー用接着剤でラウドスピーカーを取り付けます。

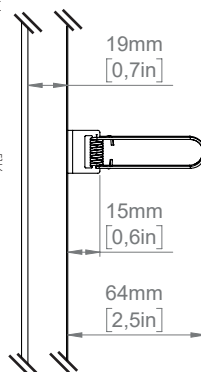


壁面取り付け

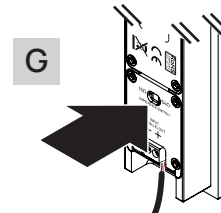
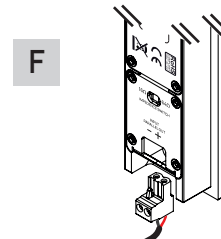
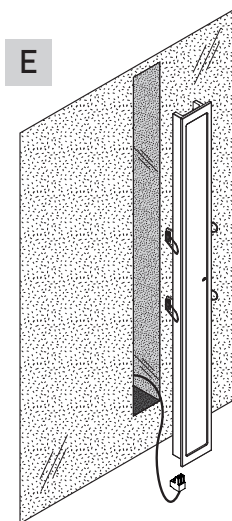
- 梱包箱から穴あけ用テンプレートを切り取ります。
- 穴あけ用テンプレートを取り付け面に置き、垂直になるように注意します。
- 表面に凹部の刃先をマークします。



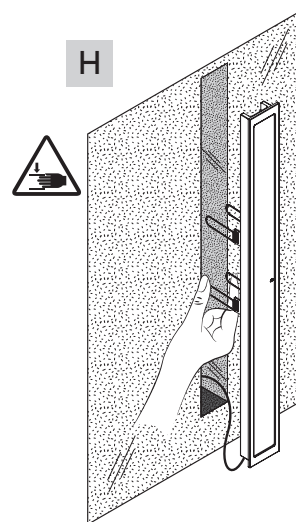
- ラウドスピーカーを取り付けるため、形状の公差に注意して表面をカットします。凹部の深さが、ラウドスピーカーとそのスプリングクリップが収まるのに十分な幅、つまり83mm (3.27インチ) より深いことを確認します。



- ラウドスピーカーケーブルの配線をセットし、ラウドスピーカー信号の極性に合ったコネクタに接続します。
- 適切なラウドスピーカーインピーダンスを設定します。
- ラウドスピーカーを配線に接続します。



- スプリングクリップをゆっくりと広げ、ラウドスピーカーをリセスに挿入します。



アフターサービス

アフターサービスを受けるには：

1. お手元にシリアル番号をご用意ください。
2. お住まいの国の K-array 販売代理店にご連絡ください。カスタマーサービスに、問題を明確かつ完全に説明してください。
3. オンライン・サービスのご連絡を差し上げます。
4. 電話で問題が解決できない場合は、修理のためにユニットをお送りいただくことがあります。この場合、RA (Return Authorization) 番号が発行されますので、修理に関するすべての発送書類および通信書類に記載してください。送料は購入者に請求されます。

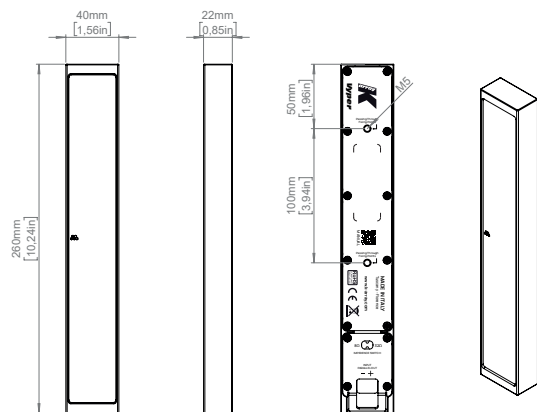
デバイスのコンポーネントを変更または交換しようとすると、保証が無効になります。修理はK-arrayの認定サービスセンターで行ってください。

クリーニング

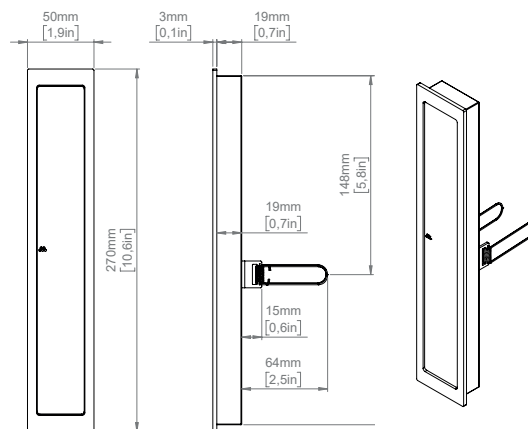
筐体のクリーニングには、柔らかい乾いた布のみを使用してください。溶剤、化学薬品、アルコール、アンモニア、研磨剤を含む洗浄液は使用しないでください。製品の近くでスプレーを使用したり、開口部に液体がこぼれないようにしてください。

機械図面

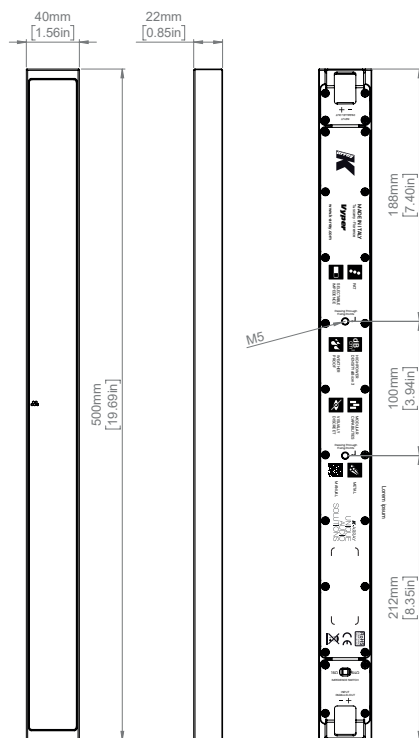
Vyper-KV25 II



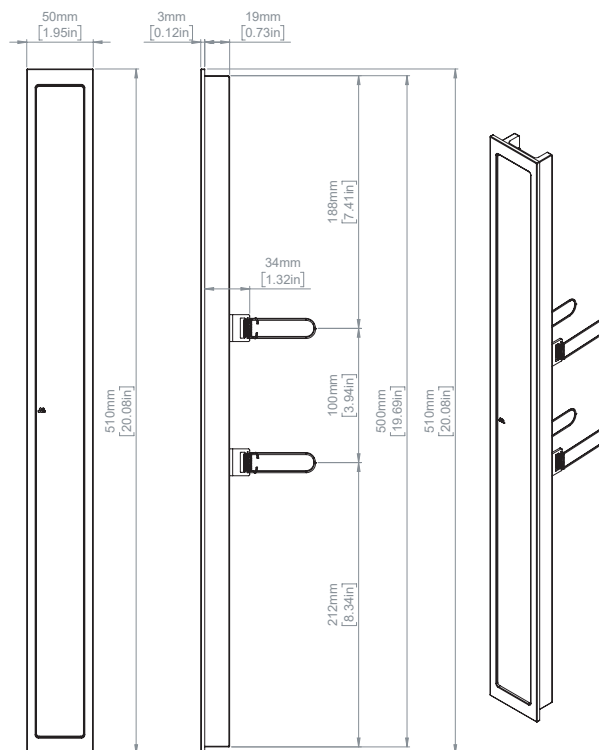
Vyper-KV25R II



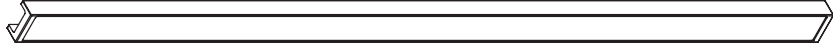
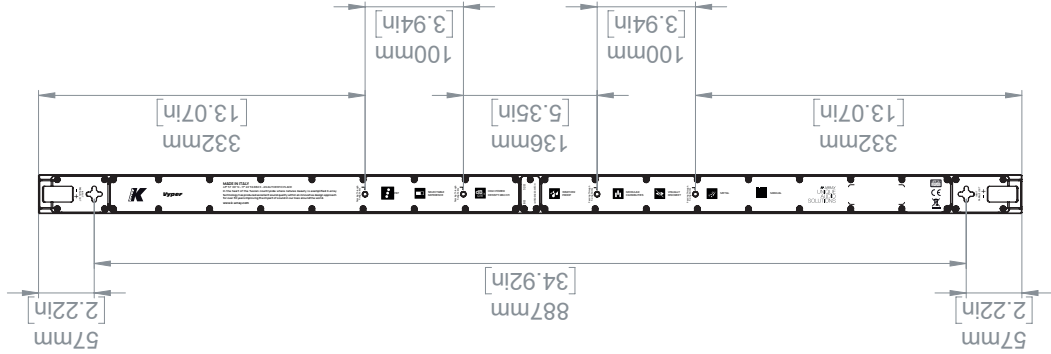
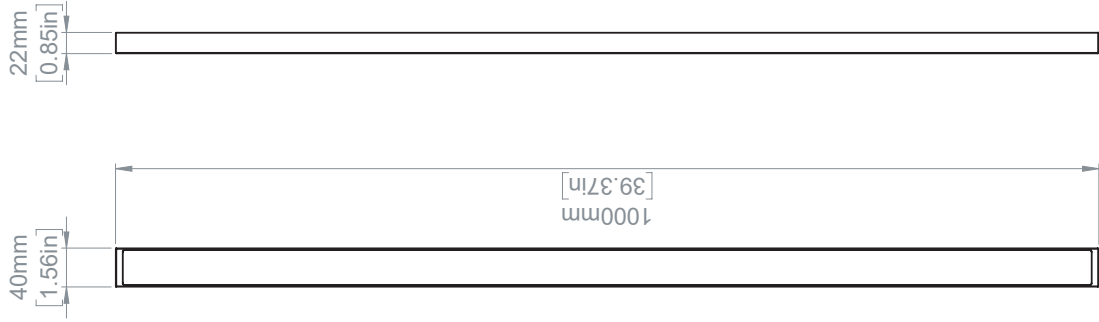
Vyper-KV52 II / Vyper-KV52F II



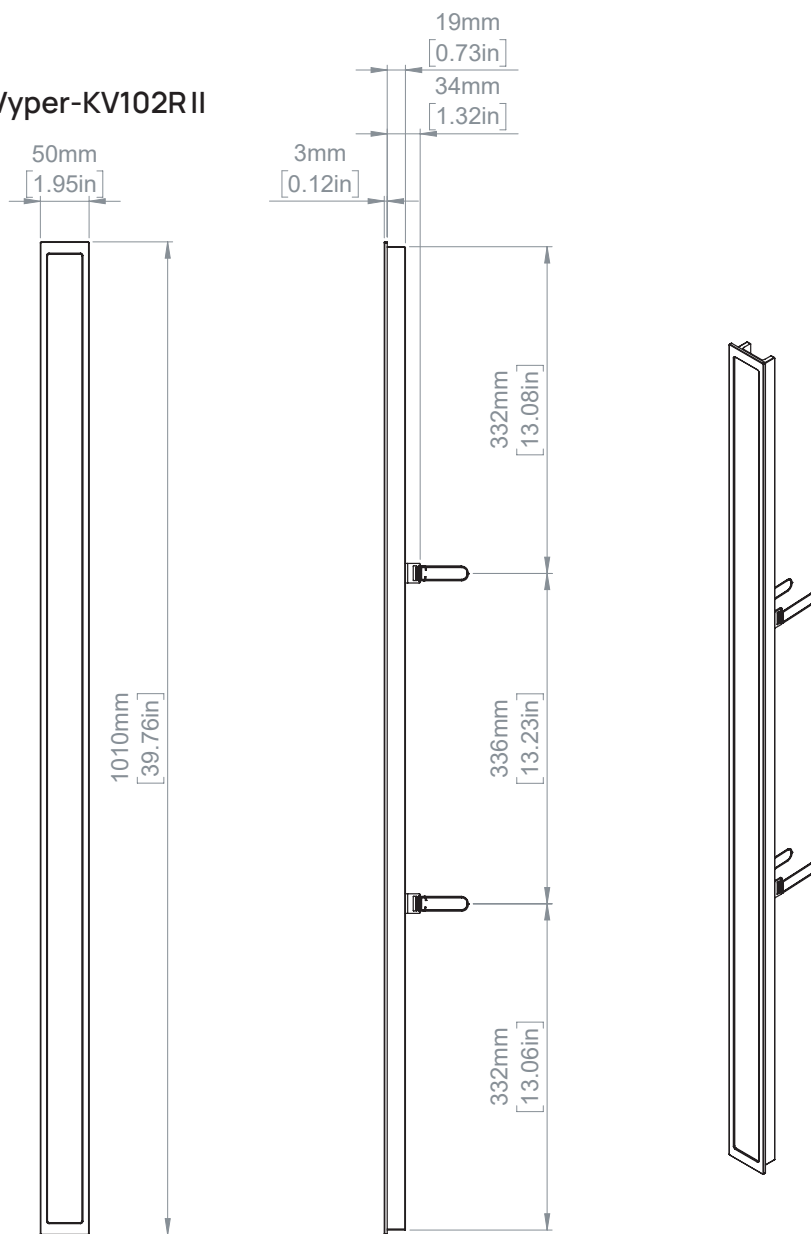
Vyper-KV52R II / Vyper-KV52FR II



Vyper-KV102 II



Vyper-KV102R II





輸入販売代理店：株式会社オーディオブレインズ
〒216-0033 神奈川県川崎市宮前区宮崎649-3 TEL:044-888-6761
<https://audiobrains.com/>

Designed and Made in Italy

K-ARRAY srl
Via P. Romagnoli 17 I 50038 Scarperia e San Piero - Firenze - Italy
ph +39 055 84 87 222 | info@k-array.com

www.k-array.com